

地域ぐるみで取り組む防災・減災

災害発生時には、市をはじめ、警察・消防などの防災関係機関が全力をあげて対応にあたりますが、火災や道路の寸断・断水・停電など様々な被害が広い範囲で起きた場合は、対応が非常に困難な事態が予想されます。このような場合には、地域ぐるみで協力し合い、助け合うことが大切になります。地域の自主防災組織を結成して、防災知識を身につけることや、いざというときの役割分担を決めるなどして地域の防災力を高めましょう。

.....住民同士が協力して地域の防災力を高めよう.....



自主防災組織の役割と活動

自主防災組織とは、地域住民が協力・連携し、災害から「自分たちの地域は自分たちで守る」ために活動することを目的に結成する組織のことです。自主防災組織は、日頃から災害に備えた様々な取り組みを実践するとともに、災害時には、災害による被害を最小限に止めるための活動を行います。

日常の活動例



災害時の活動例



要配慮者について

要配慮者とは、年齢や障がい、言葉の違いなどによって災害発生時の対応に何らかのハンデを負っている人々のことです。一般に高齢者や障がい者、乳幼児や妊産婦、日本語を十分理解できない外国人の方々などが該当します。地域で協力しあいながら、近所の要配慮者の安否確認、避難施設への移動を支援しましょう。

高齢者・病人

- おぶって安全な場所まで避難する。
- 複数の介助者で対応する。



目の不自由な方

- 声をかけ情報を伝える。
- 誘導する場合は、杖を持った方の手には触れず、ひじのあたりを軽く持つてもらい、半歩先をゆっくり歩く。



肢体の不自由な方(車椅子)

- 階段では2人以上が必要。上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。
- 介助者が1人の場合、ひもなどを用意し、おぶって避難する。



耳の不自由な方

- 話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいようにする。
- 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。



非常持ち出し品

いざというときに備えて、非常持ち出し品を準備しましょう。非常持ち出し品は、リュックサックなどにまとめて、いつでも持ち出せる場所に保管しておきましょう。

食料

- 飲料水(1人1日3リットルを目安)
- 非常食(缶詰、乾パン、レトルト食品など)
- 携帯食(チョコレート、キャンディーなど)
- 粉ミルクと哺乳瓶(赤ちゃんがいる場合)

日頃から、7日分の食料と飲料水を、備蓄品として常備しておきましょう。



救急・安全対策

- 常備薬(胃腸薬、かぜ薬など)
- 包帯、ガーゼ、ばんそうこう
- 傷薬、消毒薬
- 持病のある方の薬
- ヘルメット、防災ずきん
- ホイッスル
- 除菌ティッシュ・除菌スプレー

貴重品

- 現金(小銭)
- お薬手帳
- 母子健康手帳

衣類など

- 衣類(厚手の物と薄い物)
- 下着類
- タオル、毛布
- 手袋、軍手
- 寝袋
- 雨具

日用品など

- | | | |
|-------------------------------------|--|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ポリ袋(ビニール袋) | <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ(予備電池) | <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ |
| <input type="checkbox"/> 新聞紙 | <input type="checkbox"/> 携帯電話(充電器・バッテリー) | <input type="checkbox"/> 紙おむつ |
| <input type="checkbox"/> ろうそく、ライター | <input type="checkbox"/> 筆記用具(油性マジック) | <input type="checkbox"/> 生理用品 |
| <input type="checkbox"/> ナイフ、缶切り | <input type="checkbox"/> 洗面用具 | <input type="checkbox"/> 布ガムテープ |
| <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー | <input type="checkbox"/> メガネ | <input type="checkbox"/> ロープ |
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯(予備電池) | <input type="checkbox"/> マスク | <input type="checkbox"/> 地図(ハザードマップ) |

「ローリングストック」を心がけましょう

備蓄食料・飲料水などの保存期限が切れる前に消費し、その分だけ新たに補充して常に一定量のストックがある状態を保つことを「ローリングストック」といいます。定期的に古い備蓄品から消費することで無駄を出さず、また、いざというときに期限切れで使えなくなることを防ぎます。



大規模災害時の燃料不足に備えて「燃料が半分になる前に満タン給油」を!

大規模な災害が発生すると、ガソリンスタンドの被災や物流の停滞などにより、自動車の給油が困難になります。日頃から燃料が半分になる前に給油するよう、心がけましょう。

このポケットにハザードマップを差し込んで保管してください

ハザードマップ

- 洪水・土砂災害ハザードマップ……2枚
- 津波ハザードマップ……………1枚